しかれば、当流に、万能一徳の一句あり。
初心不レ可レ忘。
この句、三箇条の口伝あり。
是非初心不レ可レ忘。
時々初心不レ可レ忘。
老後初心不レ可レ忘。（『花鏡』奥段）

是非の初心忘るべからず

若い時に失敗や苦労し、身につけた芸は、常に忘れてはならない。

時々の初心忘るべからず

年齢とともに、その時々に積み重ねていくものを、「時々の初心」といい、その時々にあった演じ方をすることが大切である。

その時々の演技をその場限りで忘れてしまっては、次に演ずる時に、身についたものは何も残らない。

老後の初心忘るべからず

老齢期には老齢期にあった芸風を身につけることが「老後の初心」である。

老後になっても、初めて遭遇し、対応しなければならない試練がある。

NO COPY H.Taniguchi